

エコアクション21

環境経営レポート

2022 年度版

期間：2022 年 4 月 1 日～2023 年 3 月 31 日

発行日 2023 年 5 月 31 日

改定日 2023 年 8 月 17 日

株式会社好信

目次	ページ
1. 組織の概要	・・・2
2. 環境経営方針	・・・4
3. 実施体制図	・・・5
4. 環境経営目標	・・・6
5. 環境経営計画	・・・7
6. 環境経営目標の実績	・・・8
7. 環境経営計画の取組結果とその評価、 次年度の取組内容	・・・9
8. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び 評価の結果並びに違反、訴訟等の有無	・・・13
9. 代表者による全体評価と見直しの結果	・・・14

1. 組織の概要

① 事業所及び代表者氏名

事業所名 株式会社好信 代表取締役 大竹良介

② 所在地

本社 愛知県名古屋市熱田区二番 2-15-3
新船町倉庫 愛知県名古屋市港区新船町二丁目地先
一番町倉庫 愛知県名古屋市熱田区一番 2-8-16
十番町倉庫 愛知県名古屋市中川区十番町 4-5-4
横浜営業所 神奈川県横浜市港北区新横浜 3-17-15
リバティ新横浜ビル 8 階 D
大分営業所 大分県豊後高田市新町 2825-2

③ 環境管理責任者氏名及び担当連絡先

責任者 内川敬輔
担当者 川岸陽子
T E L : 052-661-8231
F A X : 052-652-3706

④ 事業内容

鋸螺類卸売販売

⑤ 事業の規模

売上高 年商 48 億 4,373 万円(2022 年度)
従業員数 本社 48 名 新船町倉庫 20 名 一番町倉庫 12 名
十番町倉庫 0 名 横浜営業所 3 名 大分営業所 3 名
合計 86 名(2023 年 3 月末現在)

本社	683.20 m ²	新船町倉庫	990.00 m ²
一番町倉庫	223.28 m ²	十番町倉庫	184.34 m ²
横浜営業所	50.34 m ²	大分営業所	49.00 m ²
合計	2,180.16 m ²		

⑥ 沿革

1950年	創立
1953年	合資会社好信設立
2003年	中国に貴宣(上海)国際貿易を設立
2004年	中国に好信(鎮江)精密機械を設立
2005年	ISO9001 認証取得
2005年	社名を株式会社好信に変更
2012年	エコアクション 21 認証取得
2012年	インドネシアに PT.YOSHINOBU を設立
2013年	台湾に好信国際貿易を設立
2018年	横浜営業所、大分営業所を開設
2021年	ベトナムに YOSHINOBU(VIETNAM) INTERNATIONAL TRADING を設立

⑦ 対象範囲

株式会社好信	全組織
事業内容	鋸螺類卸売販売

2. 環境経営方針

〈環境経営理念〉

私たちは深刻化する地球温暖化への対応、有限である資源の有効利用を最重要課題の一つとし、「お客様と共に」をスローガンに、本業である鋳螺類、機械加工部品等の販売を通じて、環境負荷の継続低減に努めてまいります。

品質の安定した商品を効率よくタイムリーにお客様に提供することが当社の一番の環境対策と考えて、この環境経営方針を全社員に周知徹底し、社員一丸となって積極的に取り組んでまいります。

〈環境保全への行動指針〉

弊社は環境に配慮した事業活動を行います

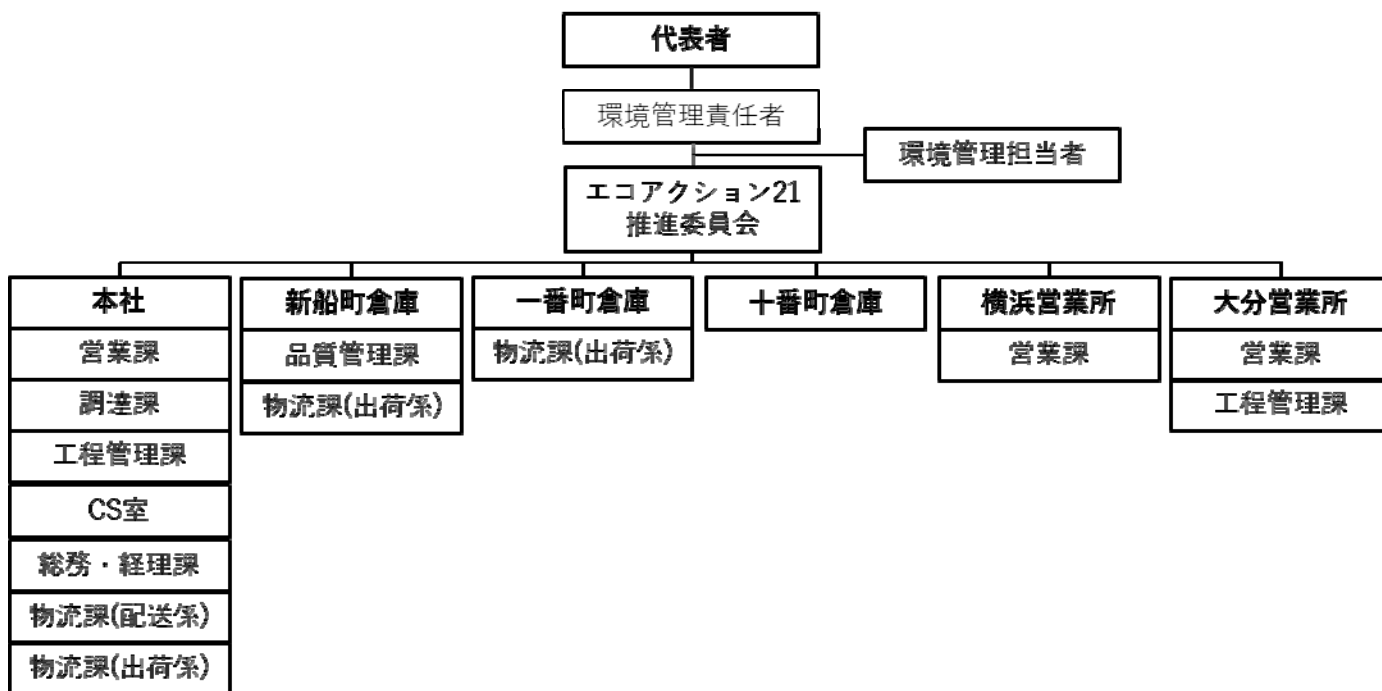
- ① 環境関連法規等を遵守します
- ② 経営の効率化、及び、省エネルギーにより二酸化炭素排出量の削減に努めます
- ③ 適正な使用により水使用量の削減に努めます
- ④ リサイクルによる廃棄物の削減に努めます
- ⑤ 品質の安定した商品をタイムリーにお客様に提供します

制定日：2011年10月15日

改訂日：2019年7月22日

株式会社好信
代表取締役 大竹良介

3. 実施体制図



対 象	役 割 ・ 責 任 ・ 権 限
代表者	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営に関する統括責任 環境管理責任者を任命 環境経営方針の策定、見直し及び全従業員への周知 環境経営目標、環境経営計画を承認 代表者による全体の評価と見直しを実施 環境経営レポートの承認
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営システムの構築、実施、管理 環境経営目標、環境経営計画を作成 環境活動の取組み結果を代表者へ報告 環境経営レポートの作成 全社共通文章の作成または作成指示 環境関連法規等の取りまとめ表を承認 代表者による全体の評価と見直しのための情報収集と代表者への提供 エコアクション 21 推進委員の指名
環境管理担当者	<ul style="list-style-type: none"> 環境管理責任者の補佐 環境活動実績の取りまとめ エコアクション 21 推進委員会の運営
エコアクション 21 推進委員会	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営目標に対する進捗管理 問題点改善のため定期的に会議を開催
各部署責任者	<ul style="list-style-type: none"> 部署内における環境方針の周知 部署内の教育訓練の実施 部署内の問題点の発見、是正、予防措置の実施
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> 環境方針の理解と環境への取組みの重要性を自覚 決められたことを守り、自主的、積極的に環境活動へ参加

4. 環境経営目標

環境目標	基準数値 2019年度 使用量	中期目標					
		2022年度		2023年度		2024年度	
①二酸化炭素 排出量合計	173,867kg-CO2	168,651	kg-CO2	166,920	kg-CO2	165,174	kg-CO2
削減比 (%)		3.0%	削減	4.0%	削減	5.0%	削減
電力使用量	44.22 kWh/百万円	42.89	kWh/百万円	42.45	kWh/百万円	42.01	kWh/百万円
削減比 (%)		3.0%	削減	4.0%	削減	5.0%	削減
軽油使用量	9.03ℓ/百万円	8.76	ℓ/百万円	8.67	ℓ/百万円	8.58	ℓ/百万円
削減比 (%)		3.0%	削減	4.0%	削減	5.0%	削減
ガソリン使用量	3.25ℓ/百万円	3.15	ℓ/百万円	3.12	ℓ/百万円	3.09	ℓ/百万円
削減比 (%)		3.0%	削減	4.0%	削減	5.0%	削減
ガス使用量	181 m ³	176	m ³	174	m ³	172	m ³
削減比 (%)		3.0%	削減	4.0%	削減	5.0%	削減
②廃棄物排出量							
木くず	31.58kg/百万円	30.63	kg/百万円	30.32	kg/百万円	30.00	kg/百万円
削減比 (%)		3.0%	削減	4.0%	削減	5.0%	削減
廃プラスチック	456kg/百万円	443	kg/百万円	438	kg/百万円	433	kg/百万円
削減比 (%)		3.0%	削減	4.0%	削減	5.0%	削減
一般廃棄物	7,200Kg	6,984	kg	6,912	kg	6,840	kg
削減比 (%)		3.0%	削減	4.0%	削減	5.0%	削減
③水道使用量	658 m ³	639	m ³	632	m ³	625	m ³
削減比 (%)		3.0%	削減	4.0%	削減	5.0%	削減
④事務用品の グリーン購入	事務用品費のグリーン購入割合(金額)を、30.0%超を維持する(2019年実績 30.52%)						
⑤納入製品の グリーン調達	お客様に RoHS 製品の推奨を行う。また要求に従いデータ提供を行う						

- ・電力使用量、軽油使用量、ガソリン使用量については、売上高に対する原単位を使用する。
- ・木くずについては、特定の仕入先との相関が非常に高いため、当該仕入先の仕入高に対する原単位に変更する。
- ・廃プラスチックについても特定の仕入先との相関が非常に高いため、当該仕入先の仕入高に対する原単位に変更する。
- ・削減比は基準年度に対する数値である。
- ・電気使用量の排出係数については、エネット 2019 年調整後排出係数の 0.409 (kg-CO₂/kWh) を用いている。
- ・消防法の届出等を必要とする危険物、P R T R法に該当する化学物質はない。

5. 環境経営計画

制定日：2023年4月3日

① 電力による二酸化炭素の削減

- ・照明 昼休み・時間外の消灯、不要照明の消灯、退社時間を早くする
- ・空調 時間外は切る、設定温度の遵守
- ・OA 機器 パソコンの省電力設定を行う、セーブモードの設定
帰宅時にはモニターの電源も切ること

ガソリン、軽油による二酸化炭素排出量の削減

- ・空ぶかし、急発進、急加速、急ブレーキの禁止、低速走行等のエコドライブを心がける
- ・タイヤの空気圧を定期的を確認し、適正値を維持
- ・定期的な車内清掃、無駄な積荷は降ろして走行
- ・ナビを利用した効率的な経路選択
- ・エコカーへの切替(リース更新時)

ガスによる二酸化炭素排出量の削減

- ・夏季（5月中旬～9月末）のガス給湯器の使用自粛

② 一般廃棄物と産業廃棄物排出量の削減

- ・ゴミと資源の分別、プラスチックトレイ・木パレットの再利用
- ・サプライヤーからの荷姿の検討
- ・裏紙の使用、シュレッダー後の紙の資源化による廃棄物の削減
- ・メールで済む伝達に印刷物を使用しない
- ・インターネット、システム、AI等を利用した紙媒体から電子的媒体への移行

③ 水使用量の削減

- ・洗濯をまとめて行う
- ・わかしたお茶を冷やすための水を流したままにしない
- ・掃除の際の水拭きをウェットティッシュへ変更

④ 事務用品のグリーン購入の実施

- ・再生材料から作られたOA用紙の使用
- ・インキ補充式マジックの購入

⑤ 製品のグリーン調達の実施

- ・RoHSにおける特定有害物質の使用制限商品の推奨
(六価クロム商品から三価クロム商品への切替の提案)
- ・外部からの製品の環境負荷に関するデータの提供依頼があった場合、協力する

6. 環境経営目標の実績

環境経営目標	基準年度 2019年度		目標数値		実績数値		評価
	2022年4月～2023年3月						
① 二酸化炭素の削減	173,867	kg-CO ₂	168,651	kg-CO ₂	142,421	kg-CO ₂	○
削減比 (%)		%	3.00	%	18.09	%	
電力使用量の削減	44.22	kWh/百万円	42.89	kWh/百万円	24.00	kWh/百万円	○
削減比 (%)		%	3.00	%	45.73	%	
軽油使用量の削減	9.03	ℓ/百万円	8.76	ℓ/百万円	5.7	ℓ/百万円	○
削減比 (%)		%	3.00	%	36.88	%	
ガソリン使用量の削減	3.25	ℓ/百万円	3.15	ℓ/百万円	2.09	ℓ/百万円	○
削減比 (%)		%	3.00	%	35.69	%	
ガス使用量の削減	181	m ³	176	m ³	97	m ³	○
削減比 (%)		%	3.00	%	46.41	%	
② 廃棄物の削減							
木くず	31.58	kg/百万円	30.63	kg/百万円	10.65	kg/百万円	○
削減比 (%)		%	3.00	%	66.27	%	
廃プラスチック	456	kg/百万円	443	kg/百万円	125	kg/百万円	○
削減比 (%)		%	3.00	%	72.59	%	
一般廃棄物	7,200	kg	6,984	kg	6,400	kg	○
削減比 (%)		%	3.00	%	8.36	%	
③ 水使用量の削減	658	m ³	639	m ³	650	m ³	△
削減比 (%)		%	3.00	%	1.06	%	
④ 事務用品のグリーン購入	グリーン購入割合 30.52%		グリーン購入割合 30.00%		グリーン購入割合 59.7%		○
⑤ 納入製品のグリーン調達	お客様に RoHS 製品を推奨する		お客様に RoHS 製品を推奨する		達成		○

※削減率は基準年度に対する割合である。

※評価基準：達成率（＝目標値/実績値）%による。

○：100%以上 △：100%未満 95%以上 ×：95%未満

（グリーン購入は ○：目標を達成 △：基準値は達成 ×：基準値以下）

※2021年度の売上高は375,710万円である。

産業廃棄物(木くず)に該当する仕入高は101,920万円である。

産業廃棄物(廃プラスチック)に該当する仕入高は5,860万円である。

※電気使用量の排出係数については、エネット2019年調整後排出係数の0.409 (kg-CO₂/kWh) を用いている。

7. 環境経営計画の取組結果とその評価、 次年度の取組内容

取組結果と評価

取組計画	取組結果	評価
【電力による二酸化炭素の削減】 <ul style="list-style-type: none"> ・昼休み、時間外の消灯 ・退社時間を早くする ・不要照明の消灯 ・空調の温度設定 ・OA 機器の省電力設定 	実施 実施(勤怠システム導入) 一部未達成 実施 実施	«目標 達成 ・未達成» ・達成率 178.71% ・勤怠システムを導入により勤務時間を見える化し、従業員の時間に対する意識が高まった ・照明の LED 化やエアコン入替の効果が継続して効果が出ている
【ガソリン・軽油による二酸化炭素の削減】 <ul style="list-style-type: none"> ・エコドライブの推進 ・空ぶかし、急発進、急加速、急ブレーキの禁止 ・タイヤ空気圧の定期的な点検 ・定期的な車内清掃 ・無駄な荷物は降ろして走行 ・ナビを利用した効率的な経路選択 ・エコカーへの切替 	実施 実施 実施 一部未達成 一部未達成 実施 実施	[ガソリン] «目標 達成 ・未達成» ・達成率 150.72% [軽油] «目標 達成 ・未達成» ・達成率 153.68% ・コロナ影響により上期まで売上減少傾向にあった ・WEB 会議の意識が浸透してきている
【ガスによる二酸化炭素の削減】 <ul style="list-style-type: none"> ・夏季(5月中旬～9月末)のガス給湯器の使用自粛 	実施	«目標 達成 ・未達成» ・達成率 181.44% ・計画を継続して実施

取組計画	取組結果	評価
<p>【廃棄物排出量の削減】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゴミと資源の分別を順守 ・プラスチックトレイ、木パレットの再利用 ・裏紙使用による削減 ・シュレッダー後の紙の資源化 ・メールで済む伝達に印刷物を使用しない 	<p>実施</p> <p>実施</p> <p>実施</p> <p>実施</p>	<p>[産業廃棄物(木くず)]</p> <p>«目標 達成 未達成»</p> <ul style="list-style-type: none"> ・達成率 287.61% <p>[産業廃棄物(廃プラスチック)]</p> <p>«目標 達成 未達成»</p> <ul style="list-style-type: none"> ・達成率 354.40% <p>・全体的に廃棄量が昨年度より少なかった。</p> <p>入荷品の滞留が多少影響している。</p> <p>[一般廃棄物]</p> <p>«目標 達成 ・ 未達成»</p> <ul style="list-style-type: none"> ・達成率 109.13% <p>・計画を継続して実施</p>
<p>【水使用量の削減】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・洗濯をまとめて行う ・沸かしたお茶を冷やすための水を流したままにしない ・掃除の水拭きをウエットティッシュへ変更 	<p>実施</p> <p>実施</p> <p>実施</p>	<p>«目標 達成 ・ 未達成»</p> <ul style="list-style-type: none"> ・達成率 98.31% <p>・新倉庫建設時に常時使用していた為。</p> <p>・来年度から傾向を監査する</p>
<p>【事務用品のグリーン購入】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・再生材料から作られたOA用紙の使用 ・インキ補充式マジックの購入 	<p>実施</p> <p>実施</p>	<p>«目標 達成 未達成»</p>
<p>【納入製品のグリーン調達】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・RoHSにおける特定有害物質の使用制限商品の推奨 ・外部からの製品の環境負荷に関するデータの提供依頼があった場合、協力する 	<p>既存製品については完了済み、新規製品についても実施</p> <p>随時提供している</p>	<p>«目標 達成 ・ 未達成»</p>

次年度（2023年度）の取組内容

① 二酸化炭素の削減

実施項目	具体的施策
照明：昼休み、時間外の消灯 不要照明の消灯 退社時間を早くする	エコアクションメンバーを起点に従業員の意識を高める
空調：時間外は切る 設定温度の順守 遮熱、断熱シートの設置 本社3階出荷の空調入替を検討	エコアクションメンバーを起点に従業員の意識を高める 総務にて見積を行う
OA機器：パソコンの省電力設定を行う 退社時は電源を切る	新規購入分も設定する エコアクションメンバーを起点に従業員の意識を高める
ガソリン：タイヤの空気圧を定期的に確認 不要な荷物を積載しない 車番毎のガソリン使用量の管理 エコカーへの切替 アイドリングストップをする WEB会議を利用した不要な外出の削減	3ヶ月に1度リース会社にて実施 月に1度使用者は清掃を行う 総務課にてデータ取得、分析 リース更新時に新車両への切替 駐停車時にエンジンを切る WEB会議システムの利用
軽油：急発進、急ブレーキを減らす 軽油の乗用車の利用を減らす アイドリングストップをする 効率的な配送ルートの再確認	荷量が少ない場合はエコカーを使う 駐停車時にエンジンを切る
ガス：夏季のガス給湯器の使用自粛	設置場所責任者がチェック

② 廃棄物排出量の削減

【一般廃棄物】

実施項目	具体的施策
・資源ゴミの分別を継続	廃棄OA用紙置場の設置を継続
・配付資料は複数ページ印刷	資料作成時に実施
・メールで済む伝達に印刷物を使用しない	各課で作業見直し
・シュレッダー後の紙ゴミは資源として再生	朝の掃除の時に実施
・インターネットを利用した電子的取引による紙の削減	インターネットFAXや電子契約の導入検討

【産業廃棄物】

実施項目	具体的施策
・プラスチックごみを分別する	ゴミ箱を分け、表示を行う
・プラスチックトレイの再利用	倉庫担当者がチェックする
・木パレットを再利用	再利用できるものは修理する
・リサイクル率の向上	

③ 水使用量の削減

実施項目	具体的施策
・沸かしたお茶を冷やすための水を流したままにしない	担当者がチェックする
・洗濯をまとめて行う	担当者がチェックする
・節水弁の取付	
・掃除の水拭きからウェットシートへ	朝の掃除の際に実施

④ グリーン購入の実施

実施項目	具体的施策
・事務用品においてエコ商品の購入	購入時にグリーン購入対象商品がないか確認

⑤ 製品のグリーン調達の実施

実施項目	具体的施策
・RoHS における特定有害物質の使用制限商品の推奨	既存、新規ユーザーへの提案、提案
・外部からの製品の環境負荷に関するデータの提供依頼に協力する	既存、新規仕入先への依頼、指導

※環境管理責任者は四半期毎に環境負荷状況を確認し、問題があれば関連担当者と協議し、解決を図る

※網掛けは本年度の新規取組事項である

8. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

当社業務で遵守すべき主な環境法規規制は、次の通りである

法規制等の名称	条 項
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	<ul style="list-style-type: none"> ・産廃収集運搬・処理業者との契約、許可証写しの保管 委任前、委任中の定期的な確認 【名古屋市産業廃棄物等の適正な処理及び資源化の促進に関する 条例 7 条】 【廃棄物の適正な処理の促進に関する条例の一部を改正する条例】 ・処理委託先の確認【12 条 7 項】 ・マニフェスト交付【12 条の 3 及び 5 等】 ・産業廃棄物管理票交付等状況報告書の提出 【施行規則 8 条の 27】
名古屋市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例	事業系一般廃棄物の適正処理（分別）【4 条】
家電リサイクル法	事業者及び消費者の責務【6 条】
小型家電リサイクル法	消費者及び事業者の責務【6 条、7 条】
フロン排出抑制法	<ul style="list-style-type: none"> ・フロン類回収等の料金負担【74 条⑥】 ・フロン類引渡義務【41 条】 ・回収依頼書/委託確認書の交付・保存【43 条①～③】 ・引取証明書（又は写し）の保存【45 条③】 ・引取証明書の未受領・虚偽記載に関する報告【45 条④】 ・フロン類回収等の料金支払い【74 条③】 ・特定製品の冷媒フロン類のみだり放出禁止【86 条】 ・業務用空調機器の適切設置【16 条①・告示 1】 ・簡易点検【16 条①・告示 2】 ・漏洩時の措置【16 条①・告示 3】 ・点検の記録簿の保管【16 条①・告示 4】
下水道法	使用開始時期の届出【10 条】
消防法	・消防の設備等【17 条】
名古屋市火災予防条例	・少量危険物の取扱【38～40 条】
自動車 NOx・PM 法	事業者の責務【4 条】
RoHS 指令	指令元素の含有量による使用制限
グリーン購入法	事業者及び国民の責務【5 条】
道路交通法	安全運転管理者の選任【74 条】

環境関連法規制等の順守状況の評価の結果、環境関連法規制は遵守されていました。

なお、違反・苦情・訴訟等、また行政指導等も過去 3 年ありませんでした。

条例は名古屋市を載せており、横浜営業所は横浜市、大分営業所は豊後高田市の同条例に準拠する。

9. 代表者による全体評価と見直しの結果

記入日：2023年5月31日

【総括的な見直し】

＜環境経営方針＞

変更なく継続して実施

＜環境経営目標＞

変更なく継続して実施

2023年1月に本社西側に倉庫を建設したが、2022年度はほぼ稼働がなかったため、次年度に目標の変更を行う。

＜環境経営計画＞

変更なく継続して実施

＜実施体制＞

変更なく継続して実施

【経営上での課題とチャンス】

2022年度は2021年度と比べ売上高が大幅に増加した。(約29%増収)しかし、原材料や人件費、物流費の高騰、及び円安の影響により粗利益率は大幅に悪化した。(約4.5%減)

上記事項は今年度も経営に大きな影響を与えるため、1月に建設した新倉庫の稼働による業務の効率化及び自動化を図る。また5月に本社工屋上に太陽光発電設備を設置、新倉庫にも同設備の設置を検討する。

客先動向によると今期は先期と比べ売上高の増加は見込めないため、粗利益率の上昇、経費の削減により利益の確保に努める。